

行事名称	第106回技術者倫理研究会 例会
開催日時	2023年7月11日（火曜日）18:30～20:30
開催場所	機械振興会館6-64（定員15名）、Web中継、各地域本部等
主催	公益社団法人日本技術士会登録 技術者倫理研究会 engineeringethics-studygroup
参加者	全国で129名参加（うち北陸本部参加者14名）
演題	技術者倫理の授業における心理的安全教育の取り組み
講師	待鳥 はる代氏（職業能力開発総合大学校・外部講師）
講演資料	あり
内容	<p>(1)講師の待鳥先生は、これまで職業訓練指導員を養成する大学校で、技術者倫理を教えてこられた。</p> <p>(2)職業訓練では、「職業の確立」が大変重要で、自分の職業（仕事）は何か、ということが常に問題になり、技術者倫理は、まさにこの要請に応えるものである。</p> <p>(3)特にエミリー・エドモンドソンが、「心理的安全性」が高い職場は、パフォーマンスが高いと報告しており、心理的安全性は、業務の安全にとっても大変重要なものだと言え、それを高めるためには、仕事のリフレーミングが必要であると指摘している。…仕事のとらえなおしが職場の雰囲気を変え、パフォーマンスを変えらるという。</p> <p>(4)本日の講演は、それらの内容について、職業大でのご自身の授業経験、取組みの中から</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事例考察学習で感じる難しさ ②心理的安全性という考え方 ③心理的安全性を高めるための教育方法 ④授業実践報告 <p>といった幅広い内容で講演された。</p>
所感	<p>技術者倫理教育の講義では、どうしても第三者的、事後的考察、道徳的非難に終わりがちとなり、当事者の立場になるのが難しいところがある。話の中でもあったが、当事者の「窮地」に同調してしまい、問題は何かを見極めるのが難しくなり複数の行動案は、なかなか出せず、無力感に陥ることがある。今回の講演では、『心理的安全性』といった切り口で、第三者から当事者への視点変換の進め方、ポイントと幅広い考察事例について大変参考になった。</p>
記入者：2023. 7. 19 倫理委員会 阿部治彦	